

市民の防災対策を応援します!!

マスコット  
キャラクター



平成 28 年 5 月  
春 号  
編集・発行  
武蔵野市民防災協会  
☎0422-60-1926

# 武蔵野市民防災協会

「平成 28 年熊本地震」により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

## 大地震はいつ発生してもおかしくない!

今後 30 年以内に約 70% の確率でマグニチュード 7 クラスの首都直下地震が発生すると推定され、武蔵野市では、東日本大震災時の武蔵野市は震度 5 弱でした。

震度 6 弱は、立っていることが困難で、固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもあり、また、窓ガラスが破損し、落下することもある大きな揺れです。

近年発生した大きな地震では、30~50% の方が家具類の転倒・落下によりけがをされており、熊本地震で被災された方の中にも「家中のガラスが割れてしまった」「倒れてきたタンスなどが目を直撃した」といった話が聞かれます。

## 地震だ!! まず身の安全の確保!

大地震から自分や家族の生命を守るために、家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施しましょう。

リビング、キッチン、寝室など家中で、時には寝ころんでみたりして、部屋の中を見渡してみてください。そして想像してみてください。「今、大地震が来たら…?」

タンス・冷蔵庫が倒れる、本棚の本の落下、食器棚の食器の落下や引き出しが飛び出してくるなんてことも。また、高層階では大きくゆったりとした揺れ(長周期地震動)により、キャスター付きの家具等が大きく移動する危険も考えられます。

家具類の転倒・落下・移動ではけがをするだけでなく、家具の下敷きになり身動きがとれなくなったり、倒れた家具が避難路を塞いでしまい逃げ遅れてしまうこともあります。今のうちにしっかり対策をしておきましょう。

納戸やクローゼット、据え付けの収納家具に収納し部屋に物を置かないことが一番。緊急地震速報を聞いてすぐに避難できる何も置いていない空間を作っておくとよいのですが、それはなかなか難しいでしょう。



では、家具の配置を見直してみましょう。

ベッドや布団など就寝位置にタンスなどが倒れて来ないよう、寝る向きや家具の向きを変えることで危険を回避できます。また、出入り口と家具類の転倒方向が重ならないよう配置することも大切です。

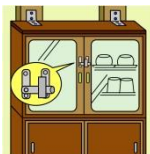
次に家具類の固定を考えてみましょう。

L 字金具で壁にネジ止めすることが確実な方法ですが、ネジ止めが難しい場合は、突っ張り棒と耐震マットや家具の下に敷く家具転倒防止安定板を組み合わせることで同等の効果が得られるといわれています。

食器棚など扉が開いて食器等が飛び出し落下しないよう金具を取り付けたり、棚板に滑り止めシートを敷いたり、

飛び出し防止枠を取り付けましょう。

本棚や飾り棚などは重いものを下に、軽いものを上に収納するなどの工夫をしましょう。



2 段重ねの家具やキャビネットなどは平型金具や連結用シートなどで上下を固定できます。



テレビやパソコンなどは粘着シートを下に敷いたり、チェーンやベルトなどで壁と固定しましょう。

また、割れたガラスでけがをしないよう、ガラス製の扉、窓などにはガラス飛散防止フィルムを貼るなどの対策をしておきましょう。

これら家具類の転倒・落下・移動防止対策と併せて、住宅の耐震診断・耐震補強、非常持ち出し品や簡易トイレなどの備蓄品の準備、連絡方法など家族での話し合いもしておきましょう。また、いざというときに慌てないよう地域の防災訓練などにも参加しましょう!

武蔵野市民防災協会では、転倒防止器具をはじめ、非常食や簡易トイレなど各種防災関連用品の展示・販売を行っています。

取扱い商品については、店頭のほか、商品パンフレットまたはホームページをご覧ください。

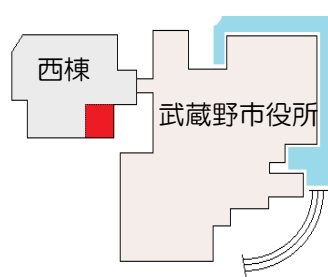
武蔵野市役所西棟 1 階 ☎0422-60-1926

<http://www.shimin-bousai.jp>

〈営業時間〉

月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始を除く)

9:00~17:00



# 武蔵野市民防災協会ってどんな団体？

武蔵野市民防災協会は、全市的な町内会組織を持たない武蔵野市において、地域の安全点検と市民一人ひとりの防災意識を高揚し、市域全体の防災力向上を図るため、平成5年4月に設立されました。

当協会では、「自分の命 自分のまちは自分たちで守る」という防災の原点に立ち、13町51丁目の市域において、原則1丁目ごとに2名、合計102名の“防災推進員”を配置し、市民の防災意識の向上と地域の安全確保のため、継続的に防災意識の啓発や地域の安全点検などの防災諸活動を行っています。

## どんな活動をしているの？

### ★ 活動報告 ★

- 1月30日、防災推進員視察研修（さいたま市防災センター防災展示ホール）を行いました。規模は小さいながらも震度7の地震体験、火災発生時の状況を再現した室内に入り、誘導灯の表示に従って出口まで避難する煙体験や消火器を使用した模擬消火体験など約2時間の研修を行いました。
- 武蔵野市主催の「武蔵野耐震フォーラム」(1月31日)において、防災備蓄品（パン缶3種）の試食のほか、アルファ米、乾パンをはじめ、呼子笛、救急シート等防災用品の展示紹介を行いました。
- 春の火災予防運動に伴う防火防災診断（3月1日～3日）において、緑町、境、吉祥寺北町、八幡町、吉祥寺本町、関前の一部地域を防災推進員が武蔵野消防署員とともに各ご家庭を訪問し、住宅用火災警報器及び家具の転倒・落下・移動防止器具の設置状況の確認、設置促進等を行いました。
- 「地域防災セミナー」を日本赤十字看護大学看護実践・教育・研究フロンティアセンター武蔵野地域防災活動ネットワーク（COSMOS）との共催で、昨年10月から3月5日まで全10回開催しました。延べ471名の方にご参加いただきました。今年も10月から開催予定です。参加費無料、どなたでも自由に、また、1日あるいは半日だけの参加もできますので、ぜひ参加してみてください。

- 武蔵野市主催の「吉祥寺駅周辺帰宅困難者対策訓練」（3月11日）に防災推進員が一般応募の方々と一緒に帰宅困難者役として、一時滞在施設への誘導訓練や一時滞在施設の運営訓練などに参加しました。
- 武蔵野市主催の「講座 [今、大震災が起こったら 女性の視点で考えてみる避難所生活とそれから]」（3月25日）に参加しました。
- 「武蔵野桜まつり」（4月3日）において、防災用品の展示・販売を行いました。

### ★ 活動計画 ★

- 「武蔵野市水防訓練・地震対策ひろば」（5月14日）において、防災用品の展示・販売を行います。
  - 「はらっぱ防災フェスタむさしの」（8月27日）において、防災用品の展示・販売を行います。
  - 「防災資機材取扱い訓練」（8月末定） 防災推進員を対象に一時集合場所・避難所にある防災備蓄倉庫内の防災資機材の取扱い訓練を行います。
  - 防災知識の普及・啓発に必要な知識及び技術の習得を目的とした講習や研修を実施していきます。
  - 市防災課と協力し、市民の防災訓練等における防災備蓄品等による支援を行います。
  - 市が設置している消火器及び収納ケースの修理・交換業務を行います。
- ※各種イベント情報は、ホームページに掲載していく予定です。

## 防災推進員って？

防災推進員は、「市民の防災思想の普及高揚をはじめ、実践的防災行動力の向上を図り、地域社会の安全と福祉の増進に寄与すること」を目的とする協会事業の推進者としての自覚を持ち、ボランティア精神の基に「自分の命 自分のまちは自分たちで守る」という意識の啓発及び市民自らが「ケガをしない」「火を出さない」「三日分の水と食料を備える」という実践行動を日頃の活動任務としています。

協会や市等が発行するパンフレット等の配布



町なかの安全点検と情報収集



市が設置した消火器の点検



春・秋の火災予防運動（防火防災診断）



各種訓練・研修



上級救命講習



また、発災時には、地域周辺の状況把握に努め、情報の収集・提供を第一とし、一時集合場所・避難所の開設、運営に協力するとともに、避難行動支援コーディネーターとして避難行動支援活動の準備及びコーディネートを行います。

地域周辺の状況把握と情報収集  
市及び関係機関への伝達・通報



避難所の開設設営への協力支援など

